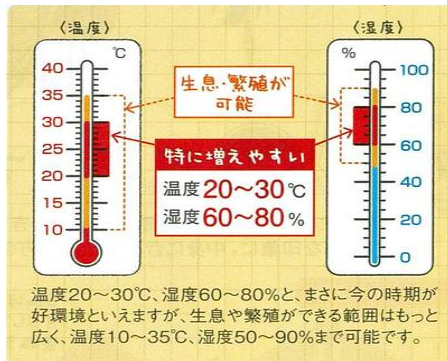


梅雨といえば湿気対策とカビ対策

15-06-II

今年の梅雨は平年より長く続くという予報が出ています。水蒸気コントロールができ、湿気を吸着しない断熱材選びされていますか？



梅雨→湿気→カビ→ダニの連鎖

※カビやダニの好む環境・・・湿気

ダニの好きな温度は25～28℃、湿度は65～85%、カビは20～30℃、湿度70%以上という高温多湿の環境が好きです。部屋の湿気はカビを呼び、ダニを呼びます。

近年は、住宅の気密化により冬場にも多く発生しており、今の住宅は一年中カビ、ダニの絶好の環境となっているのです。

※カビとダニとは

カビとダニは人類よりも歴史が長く、住宅や住まいの暮らし方の変化によってバランスが崩れ、健康被害などの問題が起こっています。まずカビは正式には真菌と呼ばれ、キノコや酵母などの発酵を行うカビ、風呂場のカビ、食中毒を引き起こすカビなどみな同じ仲間です。

一方ダニは、虫でなくクモの仲間、ダニの糞は吸い込むと肺まで入ってしまい軽視してはなりません。

※カビから生まれる怖い病気

- アレルギー性気管支喘息
- 過敏性肺炎
- カビ感染症

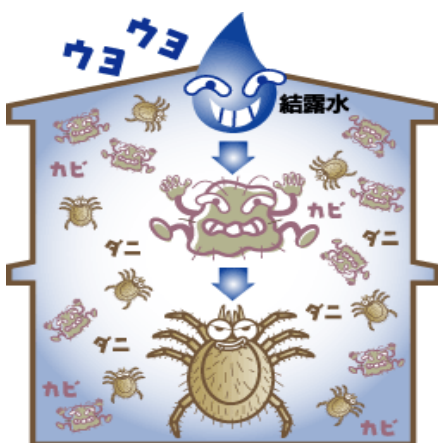
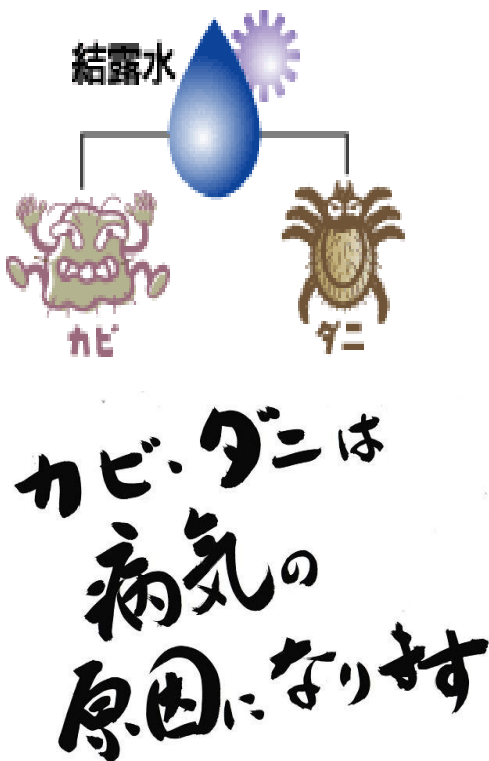
※カビが繁殖する4つの条件

- ホコリや垢などの栄養源（何でも取付く雑食家）
- 高い湿度（湿度80%を越すと猛烈に繁殖します）
- 20℃～30℃の温度（20℃を越すと一気に元気になる）
- よどんだ空気（タンス、押入れは要注意）

※カビ対策の基本は、換気・除湿・掃除

室内にはカビの胞子がいつも浮遊していますが、温度20～30℃、湿度75%以上、栄養分の3つが揃うと繁殖します。よって、カビ対策も換気・除湿・掃除の3つがポイントです。カビはダニのエサになる上、カビの好きな環境はダニも大好き。アレルギーの原因として要注意のダニを増やさない為にも、カビ対策をお忘れなく！

アイシネンの家に住んで「ぜんそくやアトピー」が改善された方が多く、子宝にめぐまれた方々も・・・Why??



この記事に関するお問合せは、(有)生環システム 森まで Email:info@seikan-s.jp

生環システム Web サイト <http://www.seikan-s.jp> 生環新書 <http://www.seikan-s.jp/ebook/>